

富山高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	運用概論 I		
科目基礎情報							
科目番号	0083		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	商船学科		対象学年	2			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	海技実習ポケットブック						
担当教員	笹谷 敬二						
到達目標							
航海士としての運用の基礎技術の習得。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
指揮統率	小艇を十分に指揮統率し運用できる		小艇を指揮統率し運用できる		小艇を指揮統率し運用できない		
安全管理	他のクルーの安全配慮が十分にできる		他のクルーの安全配慮ができる		他のクルーの安全配慮ができない		
小艇操縦	小艇を自在に運用できる		小艇を運用できる		小艇を運用できない		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	学習目標(授業の狙い) 海洋実習に引き続き、①カッターの艇長・艇指揮の技術を身に付ける、②カッターの各種走法を理解する、③各種ロープワークを実践的に身に付ける ④航海士としての小艇取り扱いの基本の習得(救命艇取り扱いにつながる) これを通して、航海士としての運用の基礎技術を身に付ける。						
授業の進め方・方法	学生1人ずつ、実際に艇指揮、艇長を経験させ、停泊中の若潮丸に対してのカッターの達着訓練を行うことにより、指揮命令の基本的能力の育成と小艇操縦の基本を身に付けていく。						
注意点	気象、海象の変化に対応しつつ、学生への安全配慮を行う。平均風速8mを超える場合は出艇しない。 3級海技士養成施設教育科目の、運用に関する科目のうち当直、貨物の取り扱いおよび積み付け、非常措置、乗組員の管理および訓練、航海に関する科目のうち地文航法に該当する。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	カッターのとう漕における艇長・艇指揮練習 出艇準備・安全確認・とう漕・達着練習		全員に艇長、艇指揮を経験させる。		
		2週	同上				
		3週	同上				
		4週	同上				
		5週	同上				
		6週	同上				
		7週	同上				
		8週	同上				
	2ndQ	9週	同上				
		10週	同上				
		11週	同上				
		12週	同上				
		13週	実践的ロープワーク				
		14週	実践的ロープワーク				
		15週	筆記試験				
		16週	答案返却 解説 授業 アンケート 等				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	30	0	0	0	0	15	45
専門的能力	40	0	0	0	0	15	55
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0